

剥く、切る、開口などの電気工事を 省力、安全、高品質にするハンドツール5種発売

株式会社TJMデザイン(本社・東京都板橋区、社長・田島庸助)は、電設工具を10月1日から発売します。

電気(内線)工事士は建築現場で、工事向け電力供給、埋設配管、配電盤設置、配線工事、スイッチボックス設置、照明取付など多様な作業に携わっており、その多くはハンドワークです。その省力化、安全性向上、品質向上に役立つハンドツールを発売します。(写真右はケーブルストリッパー「ムキチョッパ」)



CV単芯、CVT(600V)ケーブルストリッパー(ケーブル皮剥き)「ムキソケ」(商品名) 9サイズ15品種 5460円~14490円(税込)/業界初

電気工事には、ケーブル端の被覆(シース、絶縁体)を剥がす作業があります。この被覆を剥がす作業に、従来は長い時間と労力を要していました。「ムキソケ」は電動ドライバーに装着し、この作業を短い時間かつ簡単、安全に行うことができる業界初のケーブルストリッパーです。皮剥きに要する時間は約1秒と画期的です。

■CVケーブル(電力供給ケーブル)の14mm²~325mm²サイズに対応した9品種。60mm²~325mm²サイズに対応し、剥き幅が調整できる「アジャスター式」6品種発売

■替刃交換式

■ビット交換式(150mm²-325mm²)



電工ナイフ「タタックナイフ」(商品名)

1種 本体のみ3150円、ホルスター付5355円(税込)

VVF(屋内配線ケーブル)を裂く、コンパネの開口や木材への配線溝を彫るなどの作業に適正のある電工ナイフ。ブレードはホロー形状で、VVFの外被を裂く作業に最適です。先端部にも刃付け加工を施し、ブレードは(エンドキャップ内)貫通型ですから、グリップエンドを叩いてノミ代わりにも使用できます。

■滑りにくいエラストマーグリップ

■腰ベルトに装着できる専用ホルスター付も同時発売(写真右)



ケーブルストリッパー(ケーブル皮剥き)「ムキチョツパ」(商品名)

1種 本体4725円(税込)/業界初

電気工事で600V CV、CVT(電力供給ケーブル)を機器に接続するため、ケーブルの銅線を覆う被覆(シース、絶縁体)を剥がす、業界初のはさみ型ストリッパーです。作業は、①はさんでケーブルに切れ目を入れる→②被覆(シース)を剥がす→③縦に切れ目を入れる→④回転させて被覆(絶縁体)を剥がす、と簡単。刃に手が触れないため安全性が高い。ケーブルの中間の被覆を剥がして結線する作業にも便利です。

■滑りにくいエラストマーグリップ

■ブレードは交換式。左右の刃を入れ替えることで左利きにも対応。

■CVケーブルの14mm²~200mm²サイズに対応

■タタックナイフホルスターに収納可能

ケーブルの剥き方



電気はさみ「バリットバサミ」(商品名)

1種 本体3045円(税込)

多様な電気工事作業を想定した高耐久性の専用はさみ。ケーブルや金属薄板も切断できる高炭素刃物鋼使用、カットするときケーブルが逃げない「ギザ刃」、バリ取り用溝装着、滑りにくいエラストマーグリップなどが特長です。

■タタックナイフホルスターに収納可能



電気鋸「電工スマートソー」(商品名)

2種 本体2940円(税込)

コンセントBOXなどを設置する時の壁開口に最適な手挽き鋸。石膏ボード・ベニヤ等の開口設置に最適な長さ150mmのブレード。手前に切粉が落ちない押切り鋸、天井開口に最適な廻挽き鋸の2種を用意。配線をキズつけにくい先端形状刃(先丸)。便利なので、腰周りに収納して移動作業にも最適です。



鞘付属